

第 39 回 猿倉ローラースキー大会 TCM 資料

【ジュリーメンバー】

技術代表：藤本 栄作 (SAJ 派遣：岐阜県)
アシスタント TD：桃井 弘治 (猿倉ジュニアスポーツクラブ)
競技委員長：北原 昭宏 (富山県スキー連盟)

TCM は本書面を基準に行いますので、各チームで選手への情報共有をお願いします。なお、本資料に対する質問は 10 月 3 日（土）の正午まで受け付けます。その後、変更事項がある場合は 10 月 3 日（土）の午後 6 時までにホームページで再アップをいたしますのでご確認をお願いします。

1. 競技は、全日本スキー連盟競技規則最新版および本大会要項（大会ルール）により実施する。
2. コースについて
 - 1 小学 1・2 年男女は 1.5 km コースを 1 周
 - 2 小学 3・4 年生以上はすべて 2.5 km コースを使用し 5km 競技＝2 周 10 km 競技＝4 周とする。
3. 計時について
電気計時 セイコー「CT-500」および手時計を併用して計測。
4. スタート方法について
 - 1 スタートリスト記載の定時出発とする。
 - 2 全種別マススタートとする。（1 分前：フラッグ回旋・30 秒前：フラッグ静止、0 でスタート）
 - 3 スタート後のバンフライ無効区間は混雑が予想されるため、無理な追い越しをしない。また、間隔を十分にとり、妨害や接触が無いように十分に注意すること。
5. バンフライについて
 - 1 コースは何箇所か狭いところがある為、バンフライは余裕を持って行い、追い越される際は、原則として、左側にすみやかによること。
 - 2 スタート直後 450m はバンフライ無効区域とし、フィニッシュ約 50m 前から、「コリドー：2 レーン」とする。
6. フィニッシュについて
 - 1 フィニッシュ後はスピードをゆるめ、誘導係の指示に従ってすみやかに停止すること。
 - 2 ビブはフィニッシュ後に各選手で回収 BOX に返却をお願いします。
7. ローラースキーについて
 - 1 市販されていない手作りのローラースキーは使用禁止とする。
 - 2 ローラースキーはストッパーのついたクラシカル用のみ使用可能とする。
 - 3 FIS ローラースキー競技規定と全日本スキー連盟スキー競技規則の最新版を用いるが、技術代表・競技委員長と協議しローカルルールを適応する場合がある。
8. ウォーミングアップについて
 - 1 1.5 km コースを使用し、アップ時間は、**7：45～8：45** までとする。（ローラー使用可能）
 - 2 ウォーミングアップ中はビブを裏返しにして行うこと。
 - 3 競技開始後（9 時 00 分）、競技時間中のコース内でのウォーミングアップは禁止とする。
9. 競技上の注意事項
 - 1 止むなくコースを横断するときは、競技の妨げにならないように横断すること。
 - 2 電気計時のため、フィニッシュの時以外は、絶対にフィニッシュラインを通過しないこと。
 - 3 競技途中で棄権する選手は、関門員または本部役員に申し出ること。
 - 4 棄権者のビブの返却はチームで責任をもって行うこと。

10. 記録の仮発表について

- 1 記録の仮発表は、会場内の成績記録掲示板に掲示する。
- 2 非公式記録発表の 15 分後に、公式記録に切り替える。

11. 抗議について

非公式記録発表後 15 分以内に各チームの代表者が 5,000 円を添え、書面でセクレタリーに提出すること。

12. 救護について

救護所はゴールテント内に設置。応急処置を行う。

13. 質問受付方法

- 1 TCM 資料に関する質問やご意見は 10 月 3 日（土）の 12 時 00 分（正午）までメールで受け付けます。（sarukura55@gmail.com）
- 2 全ての質問に対する回答は、ジュリーメンバーと協議の後、10 月 3 日午後 6 時までにホームページにアップいたします。それ以降に変更等が出た場合は、当日の受付時に書面でご案内いたします。

その他（選手・応援者）

- 1 選手は、ヘルメット（必須）と手袋及び目を保護するもの（サングラス等）を着用して下さい。
- 2 選手はポールチップに必ずバスケットリングか冬季用バスケットを装着すること。
- 3 給水の対応は各チームでお願い致します。
- 4 このコースは、公道を使用しています。係員の指示に従い、横断歩道使用をお願いします。
- 5 コース内・会場内は禁煙とします。また、ゴミの持ち帰りをお願いします。

【本件に関するお問い合わせ先】
猿倉ジュニアスポーツクラブ
小川耕平
電話：090-2128-0745